



●立ち直りに寄り添い、犯罪や非行のない社会へ

～7月は「社会を明るくする運動」強調月間です～

「社会を明るくする運動」は、犯罪のない明るい社会のために、すべての国民が「犯罪・非行の防止」と「罪を犯した人たちの更生」について正しい理解を深め、それぞれの立場で、犯罪や非行のない明るい地域社会を築くことを目的とした全国規模の運動です。

■運動のはじまり

戦後、街にあふれた子どもたちの将来を危惧した東京・銀座の有志が、更生保護の思いに共鳴し、1949年に「犯罪者予防更生法実施記念フェア（銀座フェア）」を自発的に開催したことが始まりとされています。

■運動で目指していること

刑を終えて出所した人やその家族に対する偏見・差別は根強く、また、就職に際しての差別や住居の確保の困難などの極めて厳しい現実から、社会復帰を目指す人が結果的に孤立し、再び罪を犯すケースも少なくありません。

このため、「立ち直ろうとする人たち」に寄り添い、支えることによって再犯を防ぐと同時に犯罪や非行のない社会をつくる“更生保護”活動を展開しています。この活動には、保護司、協力雇用主、BBS会、更生保護女性会、更生保護施設など、立ち直りを支援する人たちがボランティアとして関わっています。

■保護司とは

犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支えるため、保護司法に基づき、法務大臣から委嘱された非常勤の国家公務員です。保護観察官と協力して、主に保護観察、生活環境の調整、犯罪予防活動を行います。（全国に4万7,000人）

犯罪や非行をした人たちが、地域社会の一員として円滑な社会生活を営むためには、本人の強い更生意欲と併せ、「家族、職場、地域社会の理解と協力」が必要です。

準備はOK!? ～夏の豪雨に要注意～

日田市を含む九州北部地方が梅雨入りし1月が経過しようとしています。幸い大雨による被害は起きていませんが、過去の災害は7月初旬から中旬にかけて発生することも多々ありました。

「命を守る行動」を最優先し、最低限の防災準備をしておきましょう。

★確認しておきましょう

- ① ハザードマップを確認しよう ② 避難場所と経路の確認 ③ 非常時持出品の確認

★非常持出袋を準備しましょう

① 最低限必要なもの

- ☐ 現金 ☐ 懐中電灯 ☐ 防災ラジオ ☐ 予備乾電池 ☐ ライター・ろうそく ☐ ビニール袋 ☐ マスク
☐ ウェットティッシュ ☐ 寝袋・毛布 ☐ 飲料水 ☐ 非常食（乾パン・缶詰等） ☐ 紙コップ・紙皿 等

② 個別の事情に応じて準備するもの

- ☐ メガネ・入れ歯・補聴器など ☐ 持病の薬・救急箱 ☐ 生理用品 ☐ カセットコンロ ☐ 粉ミルクやおむつ

【問い合わせ】 市役所防災・危機管理課 22-8363

HUMANRIGHTS(人権) 4コマ

～集会所って、どんなところ?～

登場キャラクター



スマイルくん(仮)



ムックくん



「長崎を最後の被爆地に～第44回全九研集会(長崎)に参加して」

「戦争、原爆」。

辛く悲惨な経験は80年を経た今でも、被爆者だけにとどまることなく、その家族にも苦しさや哀しみを与えています。被爆された方はもちろん、戦争を体験された方々の人生から、その「辛く悲惨な経験」が消え去ることではなく、それを話すこと自体が苦しく感じるなか、講師の八木道子さんは貴重な「語り部」として、ご自身の経験を伝える活動を続けています。

私の祖父も戦争経験者です。私が小学生の頃、戦争の話聞いたことがありましたが、いつもは優しい祖父が、その時だけは表情を暗くし、無言で首を横に振るだけでした。その姿に子どもながら「戦争」の辛さを感じたことを覚えています。

戦争は今もどこかで沢山の尊い人命を奪っています。八木さんは、「その光景に見慣れていませんか。自分ではなくて良かったし、自分には何もできない。ましてや自分がやった訳ではないと思っていませんか」と、(戦争を体験していない)聴講者に問いかけていました。同時に、辛かった戦争体験談の1つとして、食事に窮したことを語ってくれました。多くの人が当たり前のように食事ができる今、戦争だけではなく、ネグレクトや貧困により食事のままならない子供たちもいます。

八木さんをはじめ多くの「語り部」の皆さんに共通する願い、それは「被爆は長崎を最後にしてほしい」というものでした。その願いが強く心に響くと同時に願いを現実にならなければならないと誓える講演でした。



●学びの多様化から人権を考える



●6/5実施 ～ 京町地区集会所 第1回人権学習会 ～

講師：小原 猛 先生(玖珠町立くす若草小中学校 校長)

演題：「みんなが主役の学校」～玖珠町立くす若草小中学校の歩み～
(学びの多様化学校)

くす若草小中学校は、不登校の児童を支援する学校として、2024年4月に設立された学校です。

当日の講演では、この学校の①「設立の経過」、②「教育活動」、③「成果とこれから」についてお話があり、現在の時代背景における「学び」について考える機会となりました。

講演のなかで、いくつかの重要なキーワードがあったため紹介します。

【不登校】

この言葉を使用することは、当該の児童のみならず保護者などの家族にまで苦しみがおよぶため、当事者にしかわからない苦しみの存在を理解しない状態で、安易に使用することは避けたほうがよい。

【対話】(独自の教科)

自分の意見を周囲に伝えることによって、他者の価値観を知るなどの「他者理解」に重きを置いた授業に取り組んでいる。

【探求】(独自の教科)

学校づくりや夏祭りなど、さまざまなプロジェクトを企画・実施するにあたり、児童と教員の対話によって生まれた内容を実践することで、責任感や自主性が育まれる。

くす若草小中学校では、児童・教員が一体となって、「個の尊重・成長」を重要視しています。また、「できない理由を探すよりできる方法を探す学校」としたい。」という講師の言葉に、児童に対する配慮を模索しながら学校を運営していることがわかりました。

これまでの社会は、「平準化」されたものが基本となっています。しかしながら、多様化や多様性を重んじるこれからの社会では、個を尊重したうえで、さまざまな人が一体となって、「より良い社会」を創っていくことが

●集会所ダイアリー●



集会所イベントカレンダー

●北友田3丁目地区集会所●

7/12(土)

第1回北3人権講座



◇講師: アン スヨンさん(県国際交流員)

◇演題:「絵本で繋がる世界のお話」

～世界からみた日本・日本からみた世界～

◇時間: 1部 11:00-12:00(小・中学生向き)

※予約が必要です(定員30人)

2部 13:00-14:00(高校生以上向き)

7/31(木)

第2回北3人権講座

◇講師: 黒田加奈子さん(NPO法人子どもとメディア)

◇演題:「子どもとメディア～子どもと一緒に考える情報との付き合い方～」

◇時間: 18:30～20:00(講演は70分程度)

詳細はHPをご覧ください。

7/25(金)

北三ワークショップ

「パラコード製作」

◇講師: 小関 成穂さん

◇内容: オリジナルの手作りストラップ作成

◇時間: 19:00～20:30

※事前申し込みが必要です

●京町地区集会所●

7/18(金)

むくの木ワークショップ

「布ぞうり製作」

Tシャツを再利用し、ぞうりをつくろう

◇講師: 日田レクリエーション協会

◇参加料: 500円 ◇定員 10名程度

7/26(土)

むくの木ワークショップ

「絵の具あそび」

◇講師: GOAT...

まつおりさ さん

◇参加料: 500円

◇定員: 20人程度

◇時間: 10:00～11:00



同時開催

いまいし こども食堂&地域食堂

○高校生以下: 無料 大人: 200円

○時間: 11:30～14:00くらいまで

7/24(木)

第2回京町人権学習会

◇講師: 一法師 本治 さん

(大分市南大分公民館 社会教育指導員)

◇演題:「通夜法話における部落差別」

差別発言事件から8年 ～ともにある具体的な一人に～

◇時間: 19:00～20:10(講演時間 60分)

●生きがいサロン利用者募集中

両集会所で活動中の「生きがいサロン」では、随時、利用者を募集しています。お気軽にお問合せください。



京町地区集会所(むくの木センター)

■〒877-0051 日田市京町51-5

■TEL/FAX 0973-23-4620

■Mail: takase@cyber.ocn.ne.jp



北友田3丁目地区集会所

■〒877-0078 日田市北友田3丁目2531-39

■TEL/FAX 0973-23-6920

■Mail: kitasan@city.hita.lg.jp